連続講座

移住者の権利キャンペーン2020 「ここにいる koko ni iru.」賛同企画

移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第一回目は、豊田市で育ったブラジル人研究者マリアナ・篠原さんの報告と、樋口直人さんからのコメントです。

報告者:篠原ロンカット・マリアナ

(上智大学客員研究員・カンピーナス大学)

「日本におけるブラジル人デカセギ労働者とインターセクショナリティー:ジェンダー・階級・エスニシティの交差」

コメンテーター:樋口直人(徳島大学)

2017. 10. 7. (Sat.) 16:00~18:00

上智大学 四谷キャンパス2号館6階615a (東京都千代田区紀尾井町7-1)

申し込み不要・無料

移住者の権利キャンペーン2020 「ここにいる koko ni iru.」とは

移住者と連帯する全国ネットワーク (移住連)は、移住者と多様なルーツを もつ人々の権利と尊厳が保障される社会、 制度、政策をめざして、多くの人が参加 し、意見を出し合う場をつくる、移住者 の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者 あるいは外国にルーツを持つ方々が「こ こにいる」ことを社会に広めるとともに、 2020年に向けた政策提言を発表します。

主催: 上智大学グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻

共催: NPO法人 移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連) ここにいる koko ni iru.キャンペーン

問い合わせ先: Tel: 070-6519-1391 E-mail: inabananako@gmail.com (稲葉)